



今月は、5月にちなむ加西のお祭りとして、「端午の節句」と「卯月八日」についてご紹介します。

## 端午の節句

陰暦の5月初めは「仲夏」と呼ばれ、季節としては夏に当たりります。昨今では、5月に夏日どころか真夏日を記録するなど、急な暑さにより体調を崩しやすい気候といえます。かつては、こうした体の不調は邪気が原因とされてきました。市域でも、端午の節句にチマキを食べたり、菖蒲のお風呂に浸かることは、「こどもの日」で子どもの成長を願うだけでなく、邪気を祓う効果があると考えられていました。



「枕草子」にも、「節句は、5月に勝る月はない。菖蒲や蓬などの香りが、混ざり匂い合うことは、大変趣深い。」と記述されています。これは、こういった風習が平安時代から存在していたことを示しています。

## うづきようか 卯月八日

加西市の主な年中行事では、神様や神社、仏教や寺、そして先祖への供養のいずれかに属するか、混じり合ったかたちで行われています。

5月8日は、「卯月八日」と言って、この3種の行事が同日に行われていたという珍しい日で、「花まつり（灌仏会）」、「天道花」「花はじめ」があります。

### 【花まつり（灌仏会）】

5月8日は、ブツダ（釈迦）の誕生日にあたり、この日のために設けられた花御堂（お花で飾られた祭壇）に、誕生仏（ブツダの生まれた姿の像）を置き、甘茶をかけてお祝いをします。この行事は、市内の複数の寺で行われています。その一例として、宗寿寺（玉野町）では、白竜こども園の園児



誕生仏に甘茶をかける白竜こども園の園児 宗寿寺（玉野町）

らが花御堂に献茶したり甘茶を飲むなどして、花まつりが行われています。

### 【天道花】

先端にツツジやシャクナゲ、クチナシなどを差した竿竹を、庭に立てていました。これは、農作物がうまく育つことや稲の苗がしっかりと根付くことを祈願し、山から田の神を降ろしてくる行事です。

### 【花はじめ】

新仏のある家は、塔婆を旦那寺や山の上にあるお寺に持っていく



法華山一乗寺（坂本町） 塔婆の流し桶 市史第6巻より

き、供養してもらいます。新仏は一般的に、四十九日、花はじめ、初盆の供養を経ないと、お仏壇に入らず精霊棚で供養されます。この三つの仏事を経て、仏壇に位牌を置くことができるかとされています。その後、法事などの年忌供養を経て穏やかな霊となり、地域の先祖霊の集合体である祖神と一体になると考えられています。法華山一乗寺（坂本町）では、供養の後、塔婆を水が張られた桶に浮かべて、亡き人への思いをさせています。



5月8日頃は、初種（稲の種）

を植える本格的な農耕開始の時期で、その時に祖先が還ってきて稲作がはじまり、田の神として豊作と家内安全を祈願する農耕儀礼がありました。そこに、外来信仰の仏教が伝来してブツダの誕生日5月8日が祭礼日となり、先祖供養の手法に仏教が採り入れられたことで、「花はじめ」が誕生したとされています。

「卯月八日」も三つの行事が混じり合い、市内各地で「花まつり」「花の日」など、「花」が付いた名前で祭事も様々な形で執り行われています。

## KASAI データバンク R6.3.31 現在（前月比）

人口 / 41,792人 (-93) 男 / 20,529人 (-37) 女 / 21,263人 (-56) 世帯数 / 18,567 (56)

3月の出生数 / 7人 死亡数 / 65人 ● 5/8、22 は市民課・国保医療課窓口を延長 (17:15 ~ 19:00)

● 加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

● 加西市 HP <https://www.city.kasai.hyogo.jp>

発行 / 加西市 〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790②1110(代)

編集 / 総務部秘書課 ☎0790④8701 fax0790④0291